



## 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月3日

上場会社名 株式会社ジェイテクト  
 コード番号 6473 URL <http://www.jitekt.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 井川正治  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 酒井祥夫  
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月9日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 大名

TEL 052-527-1909

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	694,593	27.4	29,159	—	28,513	—	15,871	—
22年3月期第3四半期	545,332	△34.9	△10,160	—	△9,796	—	△15,006	—

  

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	47.21	—
22年3月期第3四半期	△46.73	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	848,327	336,115	37.2	923.13
22年3月期	847,005	315,159	35.0	924.27

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 315,633百万円 22年3月期 296,818百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	5.00	—	6.00	11.00
23年3月期	—	7.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	920,000	19.5	35,000	—	34,000	—	18,000	—	53.31

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、添付資料P.3「2.その他情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ー ー）、除外 一社（社名 ー ー）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期3Q	342,186,307株	22年3月期	321,406,607株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	271,205株	22年3月期	267,390株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期3Q	336,219,329株	22年3月期3Q	321,142,324株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P.2「1.当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績については、急速な円高の進行による為替差損の影響があるものの、日本で第2四半期まで実施された自動車販売促進のための諸施策及び中国・タイをはじめとする新興国の経済成長等により、売上高は6,945億円となり、前年同期に比べ1,492億円、率にして27.4%の大幅な増収となりました。

事業別に見ますと、機械器具部品事業におきましては、ベアリングをはじめ、ステアリング・駆動系部品とも大幅に増加し、第3四半期の売上高は前年同期に比べ1,258億円、率にして26.2%増収の6,070億円となりました。

また、工作機械事業におきましても、新興国を中心とした設備需要の増加により工作機械、制御機器等の売上が増加し、売上高は前年同期に比べ233億円、率にして36.4%増収の875億円となりました。

営業損益につきましては、上記のとおり、各事業とも売上高が大幅に増加したこと及び原価低減活動の効果などにより、291億円の利益、経常損益につきましても、285億円の利益となりました。また、四半期純損益につきましても、158億円の利益となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は、有価証券の増加等により、8,483億円と前期末に比べ13億円の増加となりました。負債につきましては、有利子負債の削減等により、前期末に比べ196億円減少の5,122億円となりました。また純資産は、新株の発行等により、前期末に比べ209億円増加の3,361億円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年11月2日に公表いたしました平成23年3月期 通期の連結業績予想につきまして、変更はありません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、当第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

#### ② 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ③ 法人税等の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ① 「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間から、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号 平成20年3月10日）を適用しております。

なお、この変更に伴う損益に与える影響はありません。

#### ② 「資産除去債務に関する会計基準」の適用

第1四半期連結会計期間から、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

なお、この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

#### ③ 「連結財務諸表に関する会計基準」の適用

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位 百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	64,923	58,284
受取手形及び売掛金	178,821	169,416
有価証券	59,531	43,630
たな卸資産	123,450	124,402
その他	40,905	41,691
貸倒引当金	△1,152	△927
流動資産合計	466,479	436,498
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	137,885	158,121
その他(純額)	155,470	161,709
有形固定資産合計	293,355	319,830
無形固定資産	8,587	9,762
投資その他の資産	79,904	80,913
固定資産合計	381,847	410,507
資産合計	848,327	847,005
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	165,654	151,485
短期借入金	66,079	103,268
1年内返済予定の長期借入金	19,300	13,392
1年内償還予定の社債	—	20,000
未払法人税等	4,129	3,733
役員賞与引当金	218	212
製品保証引当金	8,062	8,339
その他	57,120	59,419
流動負債合計	320,565	359,850
固定負債		
社債	40,000	20,000
長期借入金	83,600	80,692
退職給付引当金	57,484	58,260
役員退職慰労引当金	3,072	2,988
環境対策引当金	756	—
負ののれん	2,070	2,734
その他	4,662	7,319
固定負債合計	191,646	171,995
負債合計	512,212	531,845

(単位 百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	45,591	36,879
資本剰余金	108,237	99,525
利益剰余金	190,855	176,037
自己株式	△379	△376
株主資本合計	344,304	312,065
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,380	11,436
為替換算調整勘定	△38,051	△26,682
評価・換算差額等合計	△28,671	△15,246
少数株主持分	20,482	18,341
純資産合計	336,115	315,159
負債純資産合計	848,327	847,005

## (2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	545,332	694,593
売上原価	489,437	590,474
売上総利益	55,894	104,118
販売費及び一般管理費	66,054	74,959
営業利益又は営業損失(△)	△10,160	29,159
営業外収益		
受取利息	590	419
受取配当金	691	521
持分法による投資利益	101	1,583
為替差益	292	—
その他	2,579	2,770
営業外収益合計	4,256	5,294
営業外費用		
支払利息	2,645	2,178
為替差損	—	2,213
その他	1,246	1,547
営業外費用合計	3,892	5,939
経常利益又は経常損失(△)	△9,796	28,513
特別利益		
固定資産売却益	1,219	1,307
その他	270	—
特別利益合計	1,489	1,307
特別損失		
固定資産除却損	438	1,076
減損損失	1,104	926
たな卸資産評価損	118	—
製品保証引当金繰入額	754	115
環境対策引当金繰入額	—	756
反ダンピング税過年度精算額	298	455
事業構造改善費用	1,683	658
その他	418	258
特別損失合計	4,816	4,247
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△13,122	25,573
法人税等	2,560	7,675
少数株主損益調整前四半期純利益	—	17,898
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△676	2,026
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△15,006	15,871



## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報

## 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

(単位 百万円)

	機械器具部品 事業	工作機械等 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	481,146	64,185	545,332	—	545,332
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	78	3,670	3,748	(3,748)	—
計	481,225	67,855	549,080	(3,748)	545,332
営業損失(△)	△1,040	△9,533	△10,573	413	△10,160

## 所在地別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

(単位 百万円)

	日本	欧州	北米	アジア ・オセ アニア	その他 の地域	計	消去又は 全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	307,892	98,220	66,852	63,481	8,884	545,332	—	545,332
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	70,600	2,214	576	6,315	298	80,006	(80,006)	—
計	378,493	100,435	67,428	69,796	9,183	625,338	(80,006)	545,332
営業利益又は 営業損失(△)	△12,622	△2,206	△2,779	6,123	727	△10,759	598	△10,160

## セグメント情報

## (追加情報)

第1四半期連結会計期間から、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に製品・サービス別の事業本部を置き、各事業本部は取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は事業本部を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「機械器具部品」及び「工作機械」の2つを報告セグメントとしております。なお、「機械器具部品」ではステアリング部門及びベアリング・駆動系部品部門の2つのセグメントを集約しております。

「機械器具部品」はステアリング、ベアリング、駆動系部品等の製造販売をしております。「工作機械」は工作機械、制御機器、工業用熱処理炉等の製造販売をしております。

## 2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

(単位 百万円)

	報告セグメント		合計
	機械器具部品	工作機械	
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	607,039	87,553	694,593
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	130	6,297	6,428
計	607,170	93,851	701,021
セグメント利益	25,857	3,057	28,914

## 3 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	28,914
セグメント間取引消去	244
四半期連結損益計算書の営業利益	29,159

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。